

第3回 大洲市地域部活動推進協議会次第

日時:令和7年3月10日(月) 午後3時～

場所:大洲市役所別館3階第1会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 令和 6 年度実証事業の報告について

(2) 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめについて

(3) 今後のスケジュールについて

4 閉 会

大洲市地域部活動推進協議会 構成員名簿

1 協議会委員

番号	所 属	氏 名	役 職
1	愛媛大学社会共創学部	山 中 亮	
2	大洲市教育委員会	幸 田 裕 司	
3	大洲市教育委員会教育総務課	市 川 努	
4	大洲市校長会	畦 田 祐 二	
5	大洲市学校体育会	森 岡 也寸志	副会長
6	大洲市校長会	中 山 敏 恵	
7	大洲市 PTA 連合会	西 口 愛	
8	大洲市 PTA 連合会	福 本 政 代	
9	大洲市スポーツ協会	佐 伯 幸 一	会長
10	大洲市スポーツ少年団	矢 野 一 友	
11	おおずスポーツクラブ	増 田 敬 治	
12	大洲市スポーツ推進委員会	山 田 由美子	
13	大洲市教育委員会教育部長	村 上 司	

2 事務局

番号	所 属	氏 名	
1	大洲市教育委員会スポーツ振興課	脇 坂 剛	
2	大洲市教育委員会専門官	城 戸 弘 一	
3	大洲市教育委員会スポーツ振興課	谷 野 真由美	
4	大洲市教育委員会スポーツ振興課	黒 田 亜希子	

(1) 令和6年度実証事業の報告について

令和6年度実証事業について(概要)

①カヌー

活動場所	肱川城下ほか		
参加者数	7人	延べ人数	345人
在籍中学校	大洲北中、大洲南中、肱東中、長浜中		
指導者数	4人	属性	地域の指導者
活動回数等	20回/月活動 合計 97回		

②軟式野球

活動場所	大洲東中		
参加者数	6人	延べ人数	27人
在籍中学校	大洲東中		
指導者数	3人	属性	地域の指導者
活動回数等	2回/月活動 合計 5回		

③サッカー

活動場所	長浜中グラウンド、徳森公園多目的グラウンド		
参加者数	30人	延べ人数	79人
在籍中学校	大洲北中、大洲東中、肱東中、長浜中		
指導者数	2人	属性	地域の指導者
活動回数等	2回/月活動 合計 5回		

①カヌー活動の様子



②軟式野球活動の様子



③サッカー活動の様子



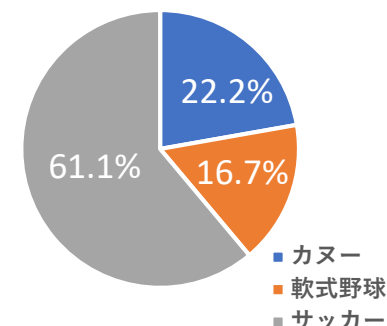
参加者(中学生)アンケート結果

令和7年2月28日

- 参加者数 43名
- 回答数 18名
- 回答率 41.9%
- 実施期間 令和7年2月14日～2月27日
- 実施方法 えひめ電子申請システム

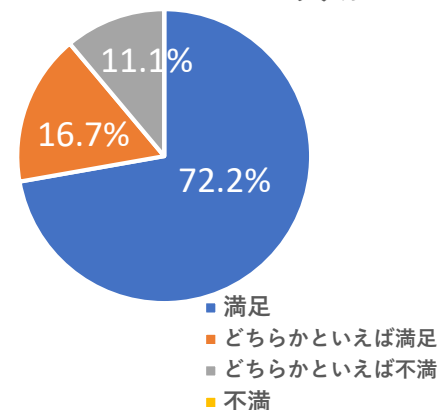
設問1 参加した種目は何ですか。

選択項目	全体	
カヌー	4名	22.2%
軟式野球	3名	16.7%
サッカー	11名	61.1%
合 計	18名	-



設問2 参加してみた満足度を教えてください。

選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
満足	13名	72.2%	4名	100.0%	3名	100.0%	6名	54.5%
どちらかといえば満足	3名	16.7%	0名	0.0%	0名	0.0%	3名	27.3%
どちらかといえば不満	2名	11.1%	0名	0.0%	0名	0.0%	2名	18.2%
不満	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合 計	18名	-	4名	-	3名	-	11名	-



設問3 「満足、どちらかといえば満足」と回答した理由を教えてください。

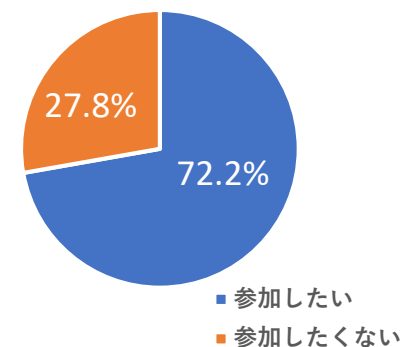
選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
楽しかった	13名	22.8%	4名	21.1%	2名	28.6%	7名	22.6%
他校の生徒と交流できた	10名	17.5%	3名	15.8%	0名	0.0%	7名	22.6%
内容が充実していた	11名	19.3%	4名	21.1%	2名	28.6%	5名	16.1%
専門的な指導を受けることができた	13名	22.8%	3名	15.8%	3名	42.9%	7名	22.6%
練習場所が充実していた	5名	8.8%	2名	10.5%	0名	0.0%	3名	9.7%
高校等への進路選択につながった	5名	8.8%	3名	15.8%	0名	0.0%	2名	6.5%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合 計	57名	-	19名	-	7名	-	31名	-

設問4 「不満、どちらかといえば不満」と回答した理由はなんですか。

選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
楽しくなかった	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
他校の生徒と仲良くできなかった	1名	33.3%	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	33.3%
内容がつまらなかった	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
指導が良くなかった	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
練習場所までの移動が大変だった	2名	66.7%	0名	0.0%	0名	0.0%	2名	66.7%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合 計	3名	-	0名	-	0名	-	3名	-

設問5 来年度も参加したいですか。

選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
参加したい	13名	72.2%	4名	100.0%	2名	66.7%	7名	63.6%
参加したくない	5名	27.8%	0名	0.0%	1名	33.3%	4名	36.4%
合 計	18名	-	4名	-	3名	-	11名	-

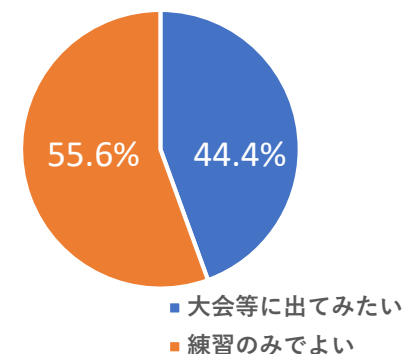


設問6 今後、改善してほしいことはありますか。

選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
試合、大会に出場したい	1名	7.1%	1名	33.3%	0名	0.0%	0名	0.0%
もっと長期間、長時間やりたい	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
毎日やりたい	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
もう少し回数を減らして欲しい	2名	14.4%	0名	0.0%	1名	33.3%	1名	12.5%
練習会場を近くにしてほしい	3名	21.4%	0名	0.0%	1名	33.3%	2名	25.0%
備品等を充実してほしい	1名	7.1%	0名	0.0%	1名	33.3%	0名	0.0%
特にない	7名	50.0%	2名	66.7%	0名	0.0%	5名	62.5%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合 計	14名	-	3名	-	3名	-	8名	-

設問7 地域クラブのチーム等で、大会等に出たいと思いますか。

選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
大会等に出てみたい	8名	44.4%	4名	100.0%	0名	0.0%	4名	36.4%
練習のみでよい	10名	55.6%	0名	0.0%	3名	100.0%	7名	63.6%
合 計	18名	-	4名	-	3名	-	11名	-



設問8 地域クラブの活動に対して、ご要望やご意見がありましたら自由に記入してください。

元日本代表や国体に出場した選手から指導を受けることができうれしい。カヌーが好きなので、高校生になっても続けたい。

他の学校の友達ができた。

やったことない練習ができた。

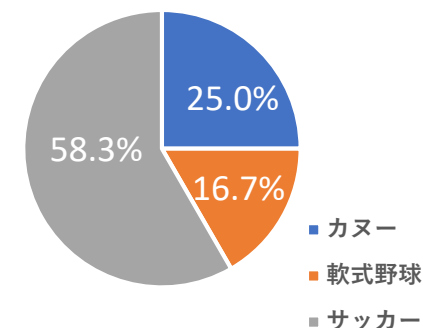
参加者(保護者)アンケート結果

令和7年2月28日

- 参加者数 43名
- 回答数 24名
- 回答率 55.8%
- 実施期間 令和7年2月14日～2月27日
- 実施方法 えひめ電子申請システム

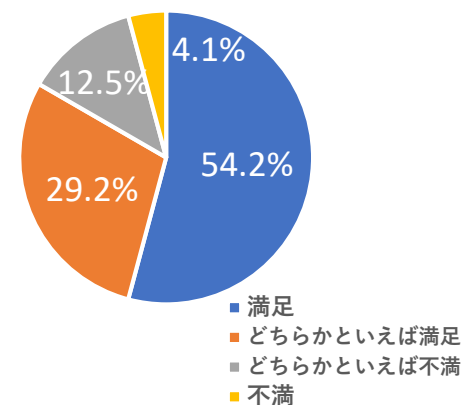
設問1 子どもさんが参加した種目は何ですか。

選択項目	全体	
カヌー	6名	25.0%
軟式野球	4名	16.7%
サッカー	14名	58.3%
合計	24名	-



設問2 参加された子どもさんの様子等から、保護者の方の満足度を教えてください。

選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
満足	13名	54.2%	5名	83.3%	3名	75.0%	5名	35.7%
どちらかといえば満足	7名	29.2%	1名	16.7%	1名	25.0%	5名	35.7%
どちらかといえば不満	3名	12.5%	0名	0.0%	0名	0.0%	3名	21.4%
不満	1名	4.1%	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	7.1%
合計	24名	-	6名	-	4名	-	14名	-



設問3 「満足、どちらかといえば満足」と回答した理由を教えてください。

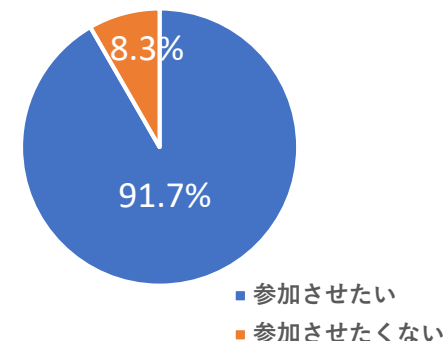
選択項目	全体		カヌー		軟式野球		サッカー	
楽しそうだった	16名	29.1%	6名	23.1%	3名	37.5%	7名	33.3%
他校の生徒と交流できた	11名	20.0%	4名	15.4%	0名	0.0%	7名	33.3%
子どもが希望する活動ができていた	7名	12.7%	4名	15.4%	2名	25.0%	1名	4.8%
専門的な指導を受けることができた	13名	23.6%	5名	19.2%	3名	37.5%	5名	23.8%
練習場所が充実していた	4名	7.3%	3名	11.5%	0名	0.0%	1名	4.8%
高校等への進路選択につながった	4名	7.3%	4名	15.4%	0名	0.0%	0名	0.0%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合計	55名	-	26名	-	8名	-	21名	-

設問4 「不満、どちらかといえば不満」と回答した理由はなんですか。

選択項目	全体		力ヌー		軟式野球		サッカー	
子どもがつまらなそうだった	1名	20.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	20.0%
他校の生徒と仲良くできなかった	1名	20.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	20.0%
内容がつまらなかった	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
指導が良くなかった	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
練習場所までの移動が大変だった	3名	60.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	3名	60.0%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合計	5名	-	0名	-	0名	-	5名	-

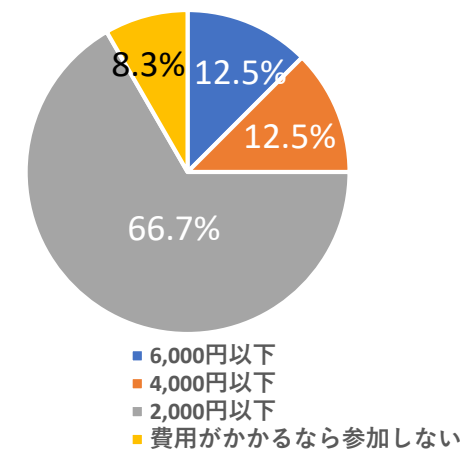
設問5 子どもさんが希望されたら、来年度も参加させたいですか。

選択項目	全体		力ヌー		軟式野球		サッカー	
参加させたい	22名	91.7%	6名	100.0%	4名	100.0%	12名	85.7%
参加させたくない	2名	8.3%	0名	0.0%	0名	0.0%	2名	14.3%
合計	24名	-	6名	-	4名	-		



設問6 今後、改善してほしいことはありますか。

選択項目	全体		力ヌー		軟式野球		サッカー	
この地域クラブで、試合、大会に出場させたい	3名	15.8%	0名	0.0%	0名	0.0%	3名	33.3%
もっと長期間、長時間やってほしい	2名	10.5%	0名	0.0%	2名	50.0%	0名	0.0%
平日もやってほしい	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
もう少し回数を減らして欲しい	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
練習会場を近くにしてほしい	2名	10.5%	0名	0.0%	0名	0.0%	2名	22.2%
指導者を変えてほしい	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
備品等を充実してほしい	1名	5.3%	1名	16.7%	0名	0.0%	0名	0.0%
特にない	11名	57.9%	5名	83.3%	2名	50.0%	4名	44.4%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合計	19名	-	6名	-	4名	-	9名	-



設問7 参加費用が1か月あたりいくらであれば、参加してもよいと思いますか。

選択項目	全体		力ヌー		軟式野球		サッカー	
6,000円以下	3名	12.5%	1名	16.7%	0名	0.0%	2名	14.3%
4,000円以下	3名	12.5%	3名	50.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
2,000円以下	16名	66.7%	2名	33.3%	4名	100.0%	10名	71.4%
費用がかかるなら参加しない	2名	8.3%	0名	0.0%	0名	0.0%	2名	14.3%
合計	24名	-	6名	-	4名	-	14名	-

設問8 地域クラブの活動に対して、ご要望やご意見がありましたら自由に記入してください。

学校で部活をするのが難しいのであれば部活動自体を無くせば良い。本気でやりたいと思う子は個人的にクラブチームに入ると思う。
わざわざ学校以外の場所で保護者が送迎してまでやる意義を感じません。
子供から強制参加だと言われて参加申し込みを出しましたが、正直迷惑でした。

移行期の数年間は学校と連携してほしい。

毎回送迎が難しい。学校又は送迎バスがあれば本当に助かる。

今回は少ない人数で1校だけの参加だったので、試合形式での「こういうときはこうする」などの対応の仕方は、練習する上では難しかったのではと思う。
個人的には技術の向上へつながったと思う。

参加費用に関しては、月にどのくらいの練習日を設けるのかによっても、変わってくると思う。

活動が始まってからは、子供達も楽しんでいだし流れもよかった。

去年もしているのに活動が始まるまでの期間、話がまとまらないなど、きちんと決まって開始できる状態で通知をしてもらえたらよかった。
3年生も参加できるように実施期間を夏頃基準ぐらいで調整してもらえる良い。

中学3年生引退後も、希望で参加出来るようにしてほしい。

一部の保護者が、子供を預けるだけ、指導を任せるだけにしているので、それだと今までの部活動と同じく指導者に負担をかけすぎると思うので保護者にも地域のクラブ活動という意識をもってもらえるようにした方が良い。

カヌーが大好きになり、毎日充実した中学生を送っている。地域クラブに移行の年に中学生となり難しい年頃ですが高校生やコーチ、監督との関わりから、色々なことを学び成長できているなど本当に嬉しい。

子供の中学校から参加したのは、うちの子だけでした。子供は友達を誘ってはいるようですが、親が送迎出来ないからと断念しているようだ。練習場所が遠方の学校の送迎について、考えてほしい。

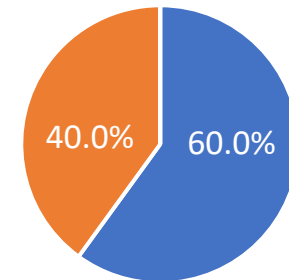
部活動教職員アンケート結果

令和7年2月28日

- 対象者数 5名 (軟式野球1名、サッカー4名)
- 回答数 5名
- 回答率 100.0%
- 実施期間 令和7年2月17日～2月20日
- 実施方法 ミライム

設問1 生徒が地域クラブ活動に参加したことで、業務の負担軽減につながりましたか。

選択項目	人数	割合
軽減された	3名	60.0%
どちらかという軽減された	2名	40.0%
どちらかという負担が増えた	0名	0.0%
負担が増えた	0名	0.0%
合 計	5名	-



- 軽減された
- どちらかという軽減された
- どちらかという負担が増えた
- 負担が増えた

設問2 「軽減された、どちらかという軽減された」と回答された理由はなんですか。

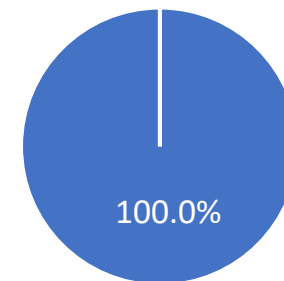
選択項目	全体	
本来の教員の業務に時間が取れた	3名	42.9%
休日に休めた	4名	57.1%
専門的な指導をしてもらったので、精神的な負担が軽くなった	0名	0.0%
その他	0名	0.0%
合 計	7名	-

設問3 「負担が増えた、どちらかという負担が増えた」を回答した理由は何ですか。

選択項目	全体	
地域クラブとの連絡・調整が負担になった	0名	0.0%
生徒・保護者への連絡・説明が負担になった	0名	0.0%
練習、試合等の日程調整が負担になった	0名	0.0%
地域クラブに参加しない生徒へのフォローが負担になった	0名	0.0%
その他	0名	0.0%
合 計	0名	-

設問4 来年度も実証事業を行うことについてどう思いますか。

選択項目	全体	
賛成である	5名	100.0%
反対である	0名	0.0%
合 計	5名	-



- 賛成である
- 反対である

設問5 前問で「賛成である」を選んだ理由は何ですか。

回数が少なかったので、今年度だけでは何とも言えないところがある。もう少し継続的に実施する方がよいのではないか。
早めに進めた方がよいと思うし、いずれそうせざるを得なくなる時が来る。
今回の実証事業では数か月しかできなかったの、今年度の改善をしながら年間を通じての実証ができれば良いと思う。
業務の負担軽減になったとともに、部員の技能の向上につながったため。
教職員の負担軽減のため。

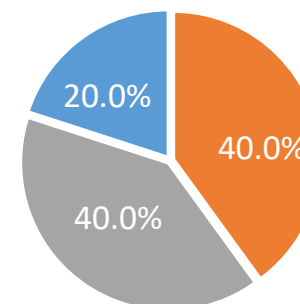
設問6 今後、改善してほしいことはありますか。

選択項目	全体	
地域クラブで大会等に出場できるようにしてほしい	3名	50.0%
もっと長期間やってほしい	1名	16.7%
平日の部活動にも指導者が参加してほしい	0名	0.0%
実施回数を減らしてほしい	0名	0.0%
練習会場を近くにしてほしい	0名	0.0%
指導者を変えてほしい	0名	0.0%
その他	1名	16.7%
(選択なし)	1名	16.7%
合 計	6名	-

(その他の内容)保護者の送迎の負担が軽くなればよいと思います。

設問7 学校部活動と休日の地域クラブについて、考えに近いものを選択してください。

選択項目	全体	
平日は学校部活動で、休日は兼職兼業によって積極的に地域クラブに関わりたい	0名	0.0%
平日は学校部活動に関わるが、休日はできる範囲でのみ地域クラブに関わってもよい	2名	40.0%
平日は学校部活動に関わるが、休日は地域クラブでやってもらいたい	2名	40.0%
平日・休日も学校部活動だけでやりたい	0名	0.0%
平日・休日も地域クラブでやってもらいたい	1名	20.0%
合 計	5名	-



- 平日は学校部活動に関わるが、休日はできる範囲でのみ地域クラブに関わってもよい
- 平日は学校部活動に関わるが、休日は地域クラブでやってもらいたい
- 平日・休日も地域クラブでやってもらいたい

設問8 地域クラブ活動に対して、ご要望、ご意見がございましたら、自由に記入してください。

中途半端な状態で進められると協力しにくい。
年度が始まってから探り探り進めるのではなく、ゴールや時期を決めた上で、前年度から具体的な計画を立てた状態で、ある程度の強制力を持った状態で動かしてもらった方が、割り切って動ける。
急に変わると今部活動に入っている生徒たちは混乱すると思うので、「〇年度入学生から」など段階的、計画的に進めてほしい。
過渡期で難しいことも多いと思う。できる限り協力させていただきたい。

(2) 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめについて

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ 概要①

※下記の内容は、公立中学校等の生徒を主な対象としたもの

1. 改革の理念及び基本的な考え方等

(1) 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。
(地理的要因や障害の有無等に関わらず、生徒が希望する活動を主体的に選択できる環境の整備を図ることが重要)
※改革を実現するための手法を考える際には、学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等を実現することについても考慮。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障。
- 生涯にわたってスポーツや文化芸術と豊かに関わる力を身につけることを含めた、スポーツ・文化芸術の役割や意義も尊重する必要。
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域においてスポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

(2) 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。
＜新たな価値の例＞
生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による一貫的な指導
- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、地域クラブ活動の定義・要件や認定主体、認定方法等を国として示す必要。

(3) 地域全体で連携して行う取組の名称（「地域移行」の名称変更等）

- 上記の理念や地域クラブ活動の在り方等をよりの確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。
【コンセプト】①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。 + ②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする。
※学校部活動から地域クラブ活動に転換した場合であっても、地域クラブ活動の実施に当たって、学校施設の活用等、学校との連携は図る必要。

(4) 改革を進めるに当たっての基本的な考え方

- 上記の理念等を幅広い関係者で共有しながら地域展開等に取り組むこと。 ● 具体的手法は地域の実情等に応じた多様な選択肢を認めること。
- 活動の場を増やすだけでなく、活動内容の質的向上も図ること。 ● 対面とデジタルを最適に組み合わせるなど新たな手段も最大限活用すること。
- 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討し、国・都道府県・市区町村が支え合いながら適切な支援を行うこと。

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ 概要②

2. 改革推進期間の成果と課題

- 令和5年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、地方公共団体による取組が着実に進捗。既に休日の地域展開を進めている地方公共団体等も存在しており、今後も更に改革が進捗していく見込み。
- 地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた運営形態のモデルや指導者確保等の課題の解決に向けた方策等も見出されている。
- 他方、改革途上にある地方公共団体等も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要。そのためにも、国において実証事業等の成果と課題の整理・分析を行い、課題の解決方策等も明らかにし、広く普及していくことが重要。

3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等に合った望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。
※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できるところから取り組むことなどもあり得る。

改革の進め方	・休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。 ※地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、きめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。 ・平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。
次期改革期間	「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度） ※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に休日の地域展開等に着手。 ※平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。
費用負担の在り方等	・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要。 ・公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要。 ・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。 ・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることを防ぐよう、経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。

※改革を円滑に進めるためには、地方公共団体とともに、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、社会教育施設、民間事業者、大学、地域の中学校体育連盟、スポーツ推進委員等と適切に役割分担を行い、幅広い関係者が連携・協働しながら一体となって取組を進める必要。

4. 地方公共団体における推進体制の整備

- 地方公共団体において、専門部署の設置や総括コーディネーターの配置等、適切な推進体制を整備することが重要。
- 都道府県が広域自治体としてリーダーシップを発揮し、市区町村に対して必要な支援をきめ細かく行うことも重要。
- 一つの市区町村における対応が困難な場合には、複数の市区町村による広域連携の取組を進めることも重要。

5. 学習指導要領における取扱い

- 地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるものの、教育的意義を有する活動であり、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するもの。そのため、地域クラブと学校との連携が大切。
- 現時点における地域展開等の進捗状況・見通しを踏まえると、今後、休日を中心に、地域クラブ活動が広く普及・定着していることが見込まれる一方で、当面は、平日を中心に学校部活動が存続する学校も一定程度あることが想定。
- 今後、こうした地域クラブ活動の意義や地域展開の進捗等の実態を踏まえつつ、学習指導要領の次期改訂時にあわせて、学校部活動と地域クラブ活動に関する記載の在り方を検討（具体的な内容については、最終とりまとめまでに更に検討を深める）。

【各論（個別課題への対応等）】 ※実証事業における取組・成果の分析等も踏まえ、最終とりまとめまでに更に検討を深める。

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備（組織体制・財務基盤の整備、ICT活用による事務処理の効率化等）
2. 指導者の質の保障・量の確保（多様な人材の発掘・マッチング・配置、大学生の活用、指導を望む教師の兼職兼業の推進、ICTの効果的活用、指導者資格の在り方検討、研修の充実、平日と休日の一貫指導（地域クラブと学校の連携強化等）等）
3. 活動場所の確保（学校施設の優先利用・使用料の減免等のルール作り、スマートロック等による鍵の受け渡しの負担軽減、指定管理者制度の活用促進等）
4. 活動場所への移動手段の確保（スクールバスの有効活用、地域公共交通との連携等）
5. 大会やコンクールの運営の在り方（地域クラブの参加促進、運営体制の整備・運営方法等（教師の引率等の負担軽減等を含む））
6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進（効果的な周知・広報等）
7. 生徒の安全確保のための体制整備（事故等の防止、暴力・暴言等の不適切行為の防止、事故等や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化、生徒及び指導者の保険への加入、地域の専門家のネットワーク化、トレーナーの効果的な活用・資格の在り方検討等）
8. 障害のある生徒の活動機会の確保（体制整備等において考慮すべき特有の事情、障害者対応指導ツールの活用や研修等を通じた指導者の資質・の応力の向上等）

(3) 今後のスケジュールについて

「中学校部活動の地域移行」の方針（案）

令和6年度 方針1

（令和6年度中）実証事業として、「カヌー」「軟式野球」「サッカー」に取り組む。

- 令和6年度大洲市喜多郡中学校新人体育大会終了後から、カヌーだけでなく、「軟式野球」と「サッカー」においても、市内の希望する全ての生徒が、休日に拠点校（拠点会場）に集まり、地域クラブとして合同練習する。

令和6年度 方針2

（令和6年度末までに）「大洲市地域部活動推進協議会」から「大洲市教育委員会」へ提言書を提出する。

- 令和7年3月をめぐり、子供たちのスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会の確保と、学校における働き方改革の推進を目的とした、『大洲市学校部活動の地域移行の在り方に関する提言』をまとめる。

大きな方針

（令和10年の夏を目標として）「部活動」から「地域クラブ活動」へ完全移行する。

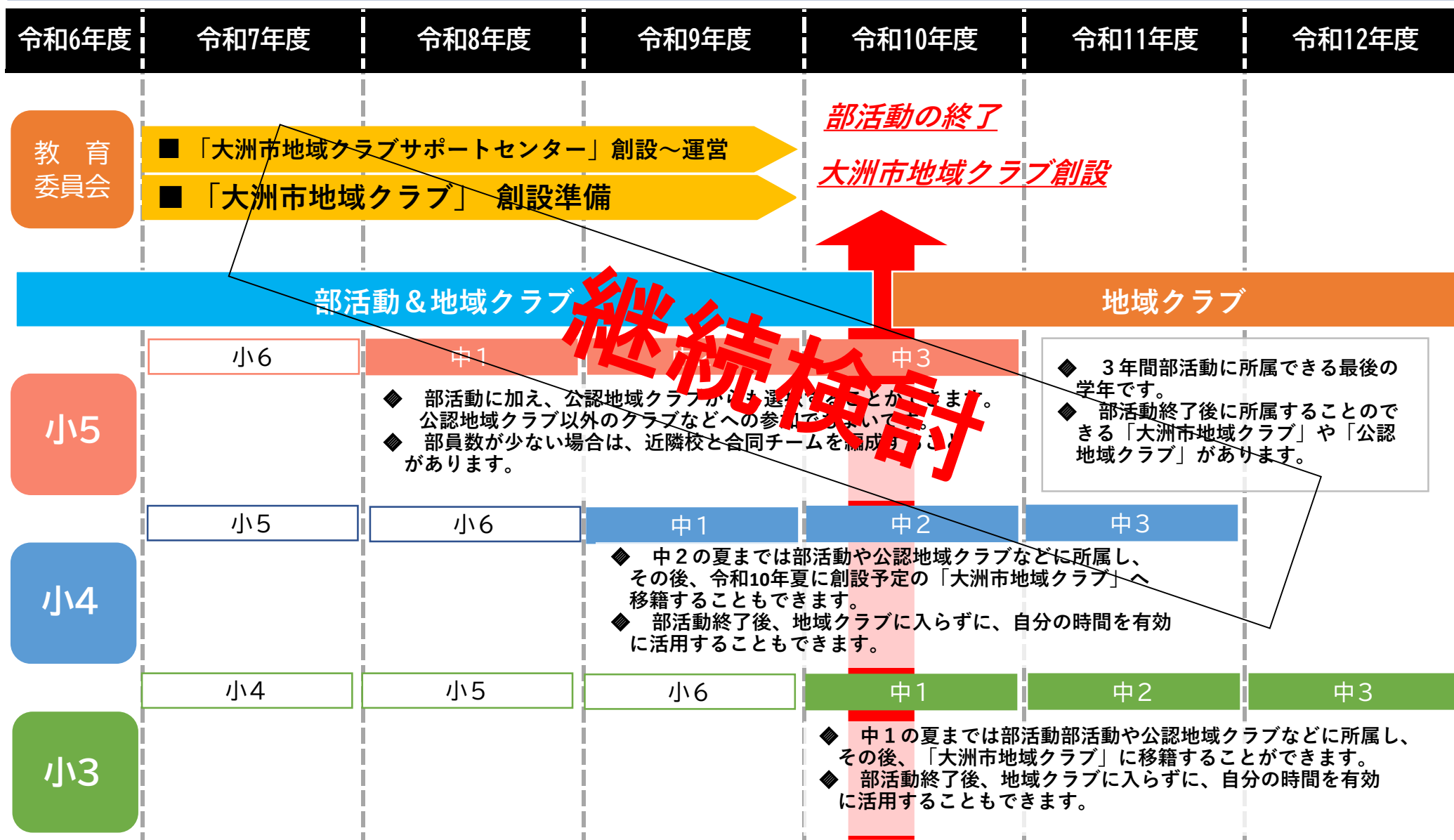
- 令和10年の夏を目標として、平日、土曜日の運動部、文化部を問わず、部活動については地域クラブ活動へ完全移行する。

令和7年度 ～ 令和8年度以降の方針

- 提言を受けて、新たに「大洲市地域クラブサポートセンター」を創設し、「新しい地域クラブを創設したい方」、「活動中の地域クラブの公認を受けたい方」、「地域クラブの指導者になりたい方」などを対象として、「創設相談、公認認定、指導者募集、指導者資格取得支援」などを実施し、公認地域クラブの拡大を推進する。
- 提言を受けて、部活動地域移行後の受け皿整備のため、「大洲市地域クラブ」の創設準備をすすめる。部活動指導員、外部指導者、指導ボランティアなどを募集するとともに、地域クラブ活動の選択肢を増やしていく。

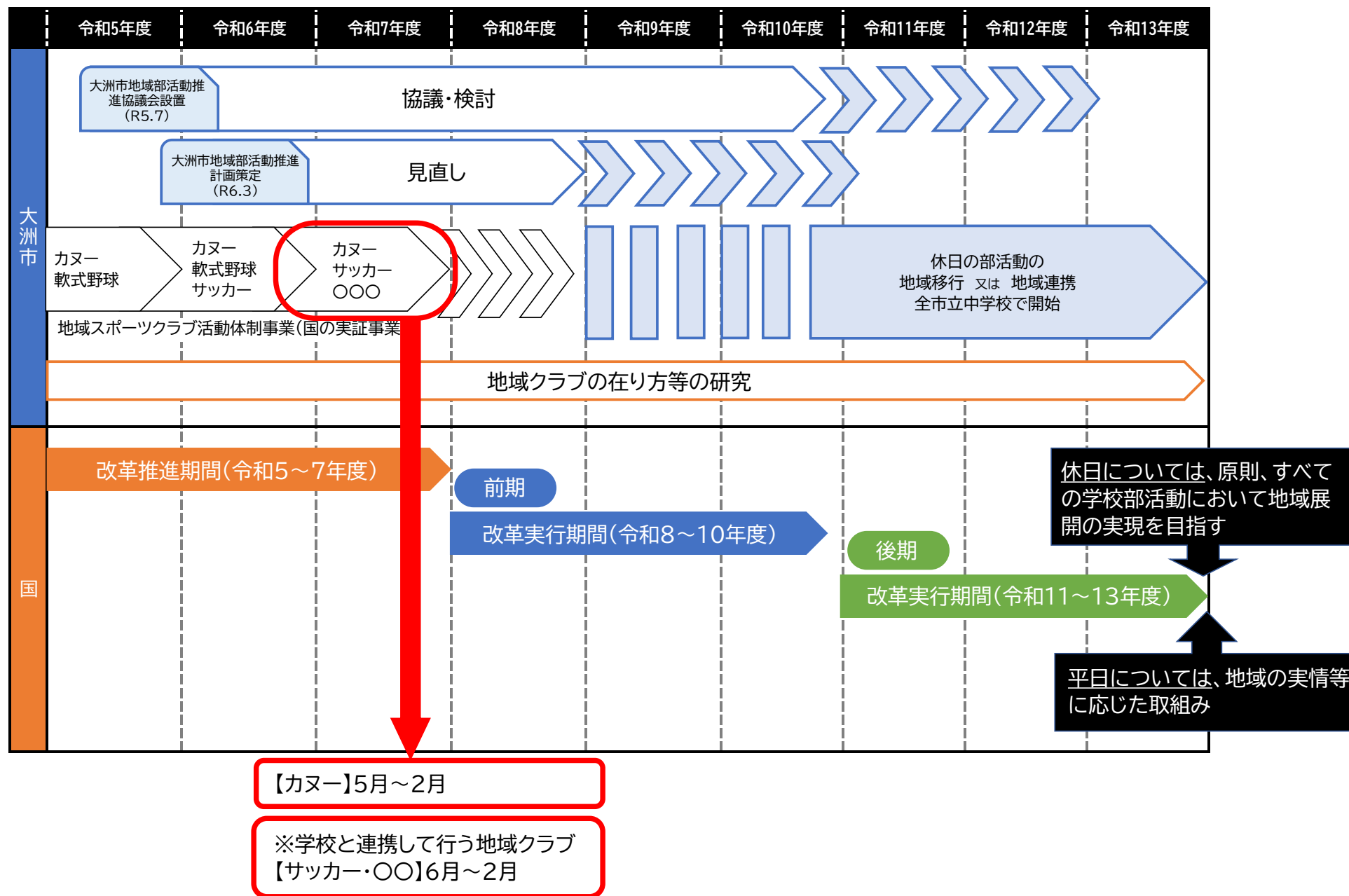
継続検討

部活動終了までのスケジュール（案）



大洲市における学校部活動及び地域展開スケジュール(案)

※令和7年度以降に再協議



令和6年度 大洲市学校別部活動 生徒数(1,2年生)

R6.9.1

種 目	試合 人数	最低 人数	別	大洲南			大洲北			平野			肱東			新谷			大洲東			長浜			肱川			部員数
				1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	
バスケットボール	5	5	男	11	7	18	9	4	13																		31	
			女	1	2	3	8	10	18							4	6	10									31	
サッカー	11	7	共				5	12	17				3	5	8				6	5	11	0	5	5			41	
軟式野球	9	9	共	7	4	11	3	10	13	4	9	13				9	8	17	5	3	8	9	2	11	3	0	3	76
バレーボール	6	6	女	6	3	9	9	8	17	4	4	8	1	5	6							8	4	12	5	3	8	60
ソフトテニス	6	4	男	12	9	21	17	2	19				6	3	9										3	7	10	59
			女	1	3	4	8	4	12							0	7	7	7	3	10	7	9	16	2	3	5	54
卓 球	6	6	男				3	7	10							4	8	12				5	4	9				31
			女	3	3	6	4	1	5				3	4	7													18
剣 道	5	3	男				2	2	4																			4
			女				1	2	3																			3
陸上競技			男				0	7	7																			7
			女				1	2	3																			3
水泳競技			男				5	1	6																			6
			女				3	1	4																			4
運動部員数				41	31	72	78	73	151	8	13	21	13	17	30	17	29	46	18	11	29	29	24	53	13	13	26	428
吹 奏 楽			共	8	9	17	9	2	11				9	0	9				1	4	5	2	5	7				49
美 術			共				13	13	26																		26	
コンピューター			共				25	12	37																		37	
園 芸			共				1	2	3																		3	
生 活			共				1	5	6																		6	
文 化			共	4	5	9				3	1	4							9	2	11	6	4	10				34
総合文化			共										5	7	12	9	4	13							4	6	10	35
文化部員数				12	14	26	49	34	83	3	1	4	14	7	21	9	4	13	10	6	16	8	9	17	4	6	10	190
合 計				53	45	98	127	107	234	11	14	25	27	24	51	26	33	59	28	17	45	37	33	70	17	19	36	618
全生徒数				58	56	114	139	118	257	11	14	25	31	27	58	31	38	69	28	17	45	43	38	81	17	19	36	685
入部率				91%	80%	86%	91%	91%	91%	100%	100%	100%	87%	89%	88%	84%	87%	86%	100%	100%	100%	86%	87%	86%	100%	100%	100%	90%

運動部員数 428人 (69.3%)
文化部員数 190人 (30.7%)

大洲市の各中学校生徒数推移予想（学校基本調査ベース：スポーツ振興課調べ）

【令和7年2月28日現在】

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
大洲東中	16	17	28	17	12	26	7	17	14	8	11	9	13	4	4	4
大洲南中	74	56	58	73	54	70	53	64	57	50	48	50	46	40	42	24
平野中	12	13	11	15	13	9	8	9	13	12	10	9	8	6	5	7
肱東中	35	27	31	36	23	23	25	28	20	24	23	23	18	8	8	7
新谷中	37	39	31	35	32	31	24	31	17	28	20	24	22	16	14	16
大洲北中	132	116	139	120	106	126	112	108	93	128	103	89	99	83	90	76
長浜中	37	37	43	37	36	29	38	26	19	18	16	16	11	10	2	12
肱川中	15	19	17	12	17	9	7	13	8	8	8	7	3	5	8	7
計	358	324	358	345	293	323	274	296	241	276	239	227	220	172	173	153
R6年度 1,040人														R19年度 498人		